

チーム=丸となつての白熱プレー | 続出!!



約100人が参加



全員で準備体操



令和6年3月1日現在	2,067
総世帯数	4,802
総人口	2,363
男	2,439
女	

2月25日(日) 神林体育館にて、神林地区球技大会を開催した。熱戦となる試合が多く、黄色い声援も飛び交った。各種目の入賞町会は次の通りです。

◆ラージボール卓球

- 優勝 …… 町神
- 準優勝 …… 下神
- 3位 …… 南荒井
- 敗者復活優勝 …… 寺家

◆ソフトバレーボール

- 優勝 …… 寺家
- 準優勝 …… 川東
- 3位 …… 南荒井

ソフトバレーで3連覇した寺家町会の勝野寿文さんは「良い所でのサーブエースやブロックができたことが勝因です」と笑顔で話した。活躍された出場選手、ならびに運営関係者の皆さん、お疲れ様でした。



ソフトバレーボール



ラージボール卓球



優勝トロフィー授与



自分の最期に「人生会議」を開き共に安心を

神林福祉を考える集いに41人



良いか、どうして欲しいか等、種々家族と話す機会を作るべきである。

そこで、集いの中ではもしバナカード(もしものための話し合い)を活用して、そのきっかけづくりを行った。もしバナカードには人が最期を迎える際に「大事なこと」としてよく口にする言葉が書かれており、その中から自分が大事にしたい内容を5枚選ぶというもの。選んだカードを自分で見返してみると意外や意外、カード選択の妙を各々が感じた様子であった。

参加した上原民生委員児童委員協議会長は「これからの人生の中で10年先のことを考えると、今すぐにやらねばともしバナカードを家族で試みる必要があると思う」と話し、講師の唐木先生は「皆さんの最期に対する心構えに心強く思いました」と話した。



2月27日、神林公民館で福祉を考える集いが「人生会議」をしてみませんか? あなたの人生が最期まで自分らしくあるために」の表題で開催され、あかはね内科・神経内科医院の唐木千穂院長の講演を聞くため、地区委員、一般参加の地区住民合わせて41人が出席した。

開口一番「よくピンコロがいいと言いますが、残された家族は亡人の預金通帳の在処、数あるカード暗証番号等々何も分からない。どうしようとなりませう」との話に会場はその通りとばかり納得のどよめき。このような最期にならな

いたために自分はどうか伝えたら

川東公民館 竣工

3月3日公民館竣工にあたり、町会長の藤牧一嘉さんより新しい公民館への思い入れをお聞きした。



「偶々平成12年、4役での活動中の際、敬老会行事を行いたいのが雨漏りで困っている」と話があり、これから建て替えるの時期なので、積み立てしてい^かなくてはと言う事で始まった経緯がある。コロナでコミュニティが大分薄れてしまっており、何とかしないといけないと考えていた。前町会長も取り組まれており、年数が経って積み立て、コミュニティ助成金、空港地域助成金、公民館整備助成金、フロンティアスピリット様の地域



限定支援金、宝くじ助成金などが集まり着手した。地域住民の皆さんにはあまり負担が掛からない程度に工事ができた事があるが、
さらに、「今後は地域住民の拠り所としての場所、最新耐震基準に合った建物として、災害時の拠点、避難所の機能を持たせる。子どもからお年寄りまで、いつ行っても開いている形の公民館を目指している。コミュニティが疎かになつていたが、以前のように色々な人が集まって来てほしい。休止しているサークルが新しい公民館になったと言う事で復活[●]て貰えれば嬉しい。今後は土曜居酒屋などの夢膨らむ体験行事をいくつも考えており、地域住民の更なる親睦を図りたいと考えている。川東町会全体からの視点だけでなく、各常会の課題も財源を活かしながら考えていきたい」と今後の願いを語った。

神林どの人あり！ 逸見勝繁さん(寺家) 16

個性豊かなクルミ細工

寺家町会の逸見勝繁さんのお宅に伺うと玄関先から沢山のクルミの細工作品が陳列されている。クルミやどんぐりを材料としたカップやカメ、鳥、壁飾りやのれんなどの個性的な作品が沢山並んでいる。逸見さんは20年以上前からクルミ細工を製作している。以前は石の作品を製作しており、河原で石を探していたところクルミの殻を見[●]けて面白く思い、クルミ細工を始めた。河原で地道に材料を集めたり、作品を知った知人からクルミを分けて貰ったりして、自宅には材料のクルミや木の枝、製作中のカップなどが沢山保管されている。



沢山のカップを見てみると、それぞれ個性があるように感じる。「クルミ自体に個性があるので、同じように作っても違ったように仕上がるので面白い」と逸見さんは言う。「作品を見てもらったり、持って帰って喜んで貰えるのが嬉しいよ」と笑顔。神林ふれあい文化祭では毎回作品を出展頂いているので是非ご覧になってほしい。

キーワードはなに？

本紙神林版の記事内にキーワードの文字が散りばめられています。見つけて言葉にしてください。わかった方は神林公民館に備え付けの用紙に必要事項を記入してご応募ください。アンケートにお答えいただいた正解者の中から抽選で5名に500円分の図書カードをプレゼント！締切は4月26日(金)、当選発表は商品の発送をもって代えさせていただきます。多数のご応募お待ちしております！

【前回の答え】

ふくはうち

【今回のキーワード】

○○○○○○



鎖川

歩く事の大切さ

私達は普段、何気なく「歩行」という手段を使っています。が、「歩く」ことは私達の身体に様々な働きを促します。

歩く為にはまずどこかへ移動しなければならぬ「必要性」が生じてこなければなりません。それは「欲求」と言われるものです。これが歩こうと言う意欲に繋がります。運動の神経へと伝えられます。一方で歩くエネルギーを作り出さなければなりません。心臓や肺が酸素を供給し筋肉がよりよく燃焼できるようにします。これらが統合されて歩く事へと繋がります。どれが欠けても上手く歩けません。周囲の状況を目や耳、触った感じなどの感覚を総動員して全身が協調される場面にあつた歩行ができるようになります。「歩く」事は足があれば良いと言うのではなく全身の機能が協調されて初めて「上手く歩ける」ようになります。アメリカのある病院の外來で「歩く科」というクリニックがあるくらいに歩くことが重要視されています。皆さんも散歩を始めませんか！